

科目名称:生徒・進路指導論					
担当者名:松田 淳					
科目群(区分)	開講予定時期	授業形態	必修・選択	単位数	卒業認定・学位授与の方針との関連
教職	3年後期	講義	自由	2	自由科目につき該当なし(自由科目につき該当なし)
アクティブ・ラーニング実施の有無	実施無し		ナンバリング		16302046
授業概要:社会の変化が著しい今日、中学校・高等学校では、教科による学習指導のみならず、生徒指導という教育機能が重要視されている。個々の生徒の自己指導能力の育成を図り、将来において、社会的な自己実現を目指す生徒指導及び進路指導のあり方はどうあるべきかを、具体的な事例を通して考える					
到達目標:生徒・進路指導の基礎的な知識を身につけ、今後の生徒・進路指導に関する課題を説明することができる。生徒・進路指導の問題点を論じ、将来において、社会的な自己実現を目指す生徒指導のあり方をレポートにまとめることができる。					
授業計画			準備学習とその所要時間(分)		
第1回 生徒指導及び進路指導・キャリア教育の意義及び理論			参考書に指定した学習指導要領を一通り読んでおくこと。(60)		
第2回 生徒指導及び進路指導・キャリア教育と教育課程(1)特別活動			前回授業で配付した具体的資料についての感想を用紙に記入してくること。(30)		
第3回 生徒指導及び進路指導・キャリア教育と教育課程(2)道德教育、総合的な学習の時間			前回授業で配付した具体的資料についての感想を用紙に記入してくること。(30)		
第4回 集団指導と個別指導			前回授業で配付した具体的資料についての感想を用紙に記入してくること。(30)		
第5回 生徒指導体制と教育相談体制			前回授業で配付した具体的資料についての感想を用紙に記入してくること。(30)		
第6回 校務分掌上の立場の理解と組織的な取組みの重要性			前回授業で配付した具体的資料についての感想を用紙に記入してくること。(30)		
第7回 生徒指導、進路指導・キャリア教育の在り方			前回授業で配付した具体的資料についての感想を用紙に記入してくること。(30)		
第8回 生徒自身の存在感が育まれる場や機会の設定			前回授業で配付した具体的資料についての感想を用紙に記入してくること。(30)		
第9回 校則、懲戒、体罰、停学及び退学等の生徒指導に関する法令			前回授業で配付した具体的資料についての感想を用紙に記入してくること。(30)		
第10回 問題行動(暴力行為、いじめ、不登校等)とその対応			前回授業で配付した具体的資料についての感想を用紙に記入してくること。(30)		
第11回 キャリア教育の視点に立ったカリキュラム・マネジメントの意義			前回授業で配付した具体的資料についての感想を用紙に記入してくること。(30)		
第12回 ガイダンスの機能を生かした進路指導・キャリア教育の意義			前回授業で配付した具体的資料についての感想を用紙に記入してくること。(30)		
第13回 自己評価の意義、ポートフォリオ活用との在り方			前回授業で配付した具体的資料についての感想を用紙に記入してくること。(30)		
第14回 キャリア・カウンセリングの基礎的な考え方と実践方法			前回授業で配付した具体的資料についての感想を用紙に記入してくること。(30)		
第15回 今日的な生徒指導及び進路指導上の課題、専門家や関係機関との連携			前回授業で配付した具体的資料についての感想を用紙に記入してくること。(30)		
履修に必要な予備知識や技能:これまでの教職関連科目の復習を行うとともに、参考資料として指定された中学校ならびに高等学校学習指導要領(総則編)を振り返っておくこと。					
課題に対してのフィードバック:課題等の解説・返却については、その都度説明する。					
評価方法・基準:定期試験50%、小テスト(課題レポート)30%、受講態度(授業への参加度)20%					
教科書:教科書:プリントを配布する。					
参考書:「中学校学習指導要領」文部科学省、「高等学校学習指導要領」文部科学省、「中学校学習指導要領解説 総則編」文部科学省、「高等学校学習指導要領解説 総則編」文部科学省、「生徒指導提要」文部科学省					
安達未来・森田健宏編著「生徒指導・進路指導」ミネルヴァ書房					
備考:					
実務経験の内容・期間:高校教諭 36年					